



株式会社 浜昭

創 業 昭和33 (1958) 年5月24日

代表者 代表取締役 飯盛 勝

社員数 70名 (男43名 女27名)

本 社 島根県浜田市浅井町1508-10

事業内容

石油製品販売、娯楽施設業、飲食業、
自動車整備業、自動車部品業、産業用ガス販売

勤務地(採用エリア)

浜田市

採用区分

新卒採用

キャリア採用

インターンシップ・キャリア

無

採用担当者からあなたへ

浜昭は生活に欠かせない自動車関連事業、
ゆとりのある生活を支えるボウリング、カラ
オケ、お弁当事業など、地域の皆様の暮ら
しに寄り添った事業を展開しています。
私たちの会社はお客様と関わりの多い職場
です。大切なのは元気なあ
いさつと笑顔。色々なことに
チャレンジしスキルアップして
いきながら、ともに地
域を支え成長していき
ましょう。

総務部 部長
三浦 里美さん

採用に関するお問い合わせ先

0855-22-1964

公式サイトは
こちら



新事業“自動車整備部門”を支える社員

新たな環境の中で 整備の技術を磨き続ける

商業高校を卒業後、食品メーカーを経て、知人に誘われる形で自動車整備会社に入社。当初は浜田ダムの管理や産業用ガスの配達を行っていたが、整備士不足が深刻になり、会社から依頼されて整備の仕事に移った。実務経験を積みつつ、島根運輸支局で開かれる勉強会に参加するなどして、2023年に2級自動車整備士を取得。「丁寧に教えてくれる先輩と、会社が資格取得を全面的に支援してくれたおかげで今があります」と話す。

主にビジネスで使われる商用車の車検や修理を担当。大型トラックやダンプを手がけることも少なくない。「普段見ることのない車の内部を覗くことができ、想像していたより面白いです。最近はコンピュータ制御の車が増えて大変ですが、ネットで勉強をしたり、ディーラーに問い合わせたりして対応しています」

浜昭に事業承継された2024年末以降は、同社が保有するレンタカーやタンクローリーなどの整備が急増。「仕事は増えましたが給料も上がりました」と笑顔を見せる。



整備・部品・ガス部 整備課
清水 啓太さん(34)
2024年12月入社



整備・部品・ガス部 部品課
濱田 麻也さん(31)
2025年2月入社



さまざまな車部品を把握し、 確実かつスピーディに調達

生命保険会社の営業職から転身。損害保険募集人の資格や経験を生かせる職場を探中、自賠責保険などに関わる当社に出合った。現在は自動車部品の受注から発送までの事務作業を主に担当。扱うのは数ミリ程度のネジやボルトなどからフロントバンパーやドアなどの重量物までさまざま、メーカーや車種によっても異なるため、おびただしい数の部品を見聞かする。「車の知識がまったくないので初めて聞く用語ばかりで四苦八苦しています」と苦笑しつつ、「注文時にメーカーのホームページで部品のイラストを見たり、届いた部品を確認したりして少しずつ覚えています」と前向きだ。

厳しいノルマがあった保険会社時代と違い、今は確実性とスピードが求められる。「頻繁に注文を受けるオイルエレメントやワイパーゴムなどの消耗品は目にする機会も多く、迅速に対応できるようになってきました。上司はもちろん整備の方も分かりやすく教えてくれるので、助かっています」。一人ですべての発注業務を行えるようになるのが今の目標だ。



1 整備・部品・ガス部門が加わり、従業員数も大幅増。リニューアルした職場でモチベーション高く業務にあたっている 2 本社横に移転新設した《ほっかほっか亭浅井店》 3 ボウリング場に併設するゲームコーナーには人気のクレーンゲーム機を多数設置 4 浜田市内で唯一、油槽所を備え、給油船も保有。浜田漁港に停泊する各種船舶への給油を行っている

16
LEADING COMPANY

株式会社 浜昭

● 石油製品販売事業 / レジャー業 / 飲食サービス業 / 自動車整備業 / 産業用ガス

多彩な事業を展開し、 地域の暮らしを豊かに

浜田市を拠点に、ガソリンスタンドなどの石油事業やレジャー、飲食業など幅広くサービス展開する《株式会社浜昭》。近年、事業のブラッシュアップを進め、地域での存在感がより増してきている。

設備リニューアル進め、 顧客満足度を向上

2022年秋に現在のウミライグループに加入し、新社長に就任した飯盛勝社長はわずか一年で黒字化を実現。「会社が変わったのちも継続して働き続けてくれた社員が、危機感を持ってそれぞれの業務に励んでくれた結果です」。賃上げを推し進め、夏冬のボーナスに加え、毎年決算賞与も支給するなど社員への

「レジャー部門はまだまだ数字が厳しいですが、地域の人に楽しんでもらえるようさらに工夫を凝らしたい」と話す。

弁当事業は新店舗の立地も影響し、利用客が大幅に増加。病院やホテルからの宅配注文も好調だ。車検・整備や自動車部品販売の事業が加わり、提供できるサービスの幅も拡大。地域になくてはならない存在となっている。

還元にも力を入れる。

老朽化が目立っていたSS設備の改修を皮切りに、24年には本社を移転新設し、ボウリング場《JAC》もリニューアル。25年2月には本社横に《ほっかほっか亭》店舗を移し、7月には前年にM&Aを実現した自動車整備部門の事務所も改装した。積極的な設備投資の背景にあるのは、「働く場所から変えなければ組織は変わらない」という飯盛社長のモットーだ。

きれいになっただけでなく、利便性や安全性が高まった環境は実際、スタッフのモチベーションを高め、顧客満足度向上にもつながってきている。機械を一新したボウリング場は、前年比約4割増の売り上げを記録。浜田市内の保育園に、保育活動の一環としてボウリングを活用してもらったり呼びかけも始め、好評を博している。「レジャー部門はまだまだ数字が厳しいですが、地域の人に楽しんでもらえるようさらに工夫を凝らしたい」と話す。